

美術科授業案

日時 平成28年10月21日(金)5校時

生徒 1年B組 男子17名 女子17名 計34名

授業場 美術室

授業者 更科 結希

1 題材名 「みんなに見せたいフチュウブル美術館を企画しよう」(鑑賞・表現A(2))

2 題材の目標

美術館学習で学んだことを活かしながら、展示空間の演出の仕方によって作品の見え方が異なる事を学ぶことができる。展示する作品は、形や色、作者の意図、表現方法の視点で鑑賞を行い、展示のコンセプト「コントラスト(対比)」にあった作品を選択することができる。

また、実際にミニチュア模型で展示空間を制作することを通して、コンセプトにあった作品の見せ方について考えを持ち、班活動において意見を共有し、最適な案をまとめ表現することができる。

3 題材について

(1) 題材観

美術科における今後重点をおき育成すべき資質能力として、論点整理では造形的な創造活動の基礎能力としての「思考力・判断力・表現力」の育成などが述べられている。特に、感性や想像力を豊かに働かせて、思考・判断して表現したり鑑賞したりするなど、資質能力を相互に関連させながら育成することや、生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての実感的な理解を深める等については更なる充実が求められている。また芸術ワーキンググループでは、「見方・考え方」を働かせながら知識・技能を習得し、「見方・考え方」が成長することにより思考力・判断力・表現力等が深まり、社会や世界とどのようにかかわるかという点が学びに向かう力や人間性の育成に大きく作用すると述べている。

こうした能力の育成のためには、表現・鑑賞分野が個別に存在するのではなく、育成すべき資質能力との関連を考えた上で、主体的で創造的な学習活動となるよう表現・鑑賞を一体化し、創造的な学習活動になるよう題材の工夫が必要である。

本題材では鑑賞分野に視点をおきながらも、目的に沿った美しさを追究しながら表現活動が行える題材とした。その理由として、創造的な表現をするためには、作者がどのような意図を持ち表現してきたかについて、造形要素をもとに読み解き、観る能力が必要となる。こうした能力の育成のためには、鑑賞活動が有効であり、鑑賞したことをもとに表現する活動を取り入れることで、学んだことを実践する場面が必要であると考えた。

学習指導要領における鑑賞活動のねらいとしては、自然や身近な環境の中に見られる様々な造形に視点をあて、そのよさや美しさなどを感じ取り、生活を美しく心豊かにする美術の働きについての理解を深めることをねらいとしている。そのために第1学年では、作者の心情や意図と表現の工夫を自分の根拠を持って読み取ることや作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げる学習が大切となる。また、本題材では、ミニチュア美術館を実際に制作することで、鑑賞活動で学んだことを生かし、他者の立場に立って、伝えたい内容についてわかりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ることが求められる。これは、目的や条件などを元に、美的感覚を働かせて、構成や装飾を考える力が必要となる。

本題材は、展覧会のテーマ「コントラスト」に沿ったグループ別に考えたコンセプトをもとに、実際に建築

模型を用いミニチュアの美術館に選択した鑑賞作品を配置して展覧会を表現するものである。美術館は、鑑賞者のために様々な工夫がなされている。主に、展覧会のテーマに沿った作品の選択、作者のコンセプトの伝達、作品を見せるための空間の工夫が挙げられる。こうした展覧会という企画は、作品の理解はもちろん、他者への意識、空間の演出と総合的に考えなければ作ることができない。こうした活動を通し、「見方・考え方」を成長させることによって、感性や想像力を豊かに働かせることにつながるだろうと考えた。

(2) 生徒観

。

(3) 指導観

本題材では、架空のフチュウブル美術館のテーマ展示を各グループで企画し、選択した作品を展示するミニチュア展示空間を表現するものとした。美術館の展示の共通のテーマは「コントラスト」とし、形や色、表現方法、作者の意図の視点から対比する作品を意図的に選択できるように設定した。これは、作品を鑑賞する上で、見方の大切な要素となる。また、作者の意図は同じでも、表現方法は異なることもあるため、作品の理解を深める上で、共通することや異なることに目をむけることは大切であると考え。そして、作品の選択する際に、各グループがどのような要素に視点をおいたか「コンセプト」を明確にすることで、他者が鑑賞しやすいものになるだろう。

こうした過程を経て、選択した作品を他者にどのように見せれば、コンセプトを伝えることにつながるかを考え、実際にミニチュア美術館の模型を制作する。模型の制作では、実際に鑑賞したことと自らの考えを合わせ、表現してみることによって、作品に対する理解を深めていくことと、空間の演出によって見え方が異なることを体感するためである。

また、グループでひとつの展覧会を表現することから、個人的な見方を他者と共有し、異なる見方をテーマに生かしながら表現・鑑賞活動を行うことは、思考を働かせ実践していくために必要な力の育成につながる。第1学年は、8月に釧路にある2つの美術館を訪問し、特にテーマを重視した作品の展示を観覧していきることから、既習事項を活用した題材として本題材を設定した。

【研究の視点】

「やるべきことの納得」に関わる手立て（授業構成）A

鑑賞活動を通して主題を生み出し、それを生かした表現活動を展開する題材構成を手だてとする。これは、鑑賞活動の中で培った見方や考え方から得た知識を、表現活動において転移させる学習過程である。また、表現活動では、空間の演出といった側面から、色彩や他者の視点にも学習を広げていくことで、知性と感性の両方を働かせて対象を捉えなくてはならない。こうした授業構成を行うことで、学んだことを活用して、新たな価値を生み出すことができると考えた。

「思考力を促す」に関わる手立てB

展示する作品の選択や展示空間の配置を考える場面において、自らの考えをもとに他者と意見を合わせる際に、仮定の意見を提示し批判的に見る活動を設定する手だてとする。この手だてを実施するためには、協働は前提となる。各グループの個人は、鑑賞活動を通し、「見方や考え方」に自信を持ち、理解する必要がある。その上で、各グループのコンセプトをもとに、作品の選択や空間の配置を考えることになる。その学習活動において、自分の考え方を通すのではなく、他者の意見と共通することや違いを利用しながら、コンセプトに最も近づく表現を求めていく必要がある。

4 評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想・構想	創造的な技能	鑑賞
<p>ア 伝えたい内容についてわかりやすさや美しさなどを考えて表現することに関心を持ち、主体的に構想を練ろうとしている。</p> <p>イ 作者の心情や意図と表現の工夫などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。</p>	<p>ア 美的感覚を働かせ、他者の立場に立って、伝えたい内容について、形や色彩の効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練っている。</p>	<p>ア 材料や用具の特性を理解し、制作の順序などを考えながら見通しをもって表現している。</p>	<p>ア 目的や機能、形や色彩などの美しさの調和を考え、主題に合った表現方法を選択し、自分の思いや班員との意見交流で共有したことをもとに味わうことができる。</p> <p>イ 作者の心情や意図と表現の工夫について感じ取り、自分の思いや考えを持って味わっている。</p>

5 題材指導計画（8時間）

	学習事項	主な学習活動・手だて	評価			
			関	発	創	鑑
1	美術館での学習を振り返り、作品が置かれている空間について学ぶ	<p>○美術館学習で展覧会のテーマや作品の配置の仕方について振り返り、美術館の役割や空間の演出の仕方について学ぶことができる。【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展覧会のテーマにそって、選ばれた作品と空間の演出の仕方作品の見えかたが異なることについて考える。 ・様々な展覧会の様子を鑑賞し、ミニチュアフチュウブル美術館のテーマ「コントラスト展覧会」に合うコンセプトを考える。 	ア			ア
2 ・ 3	展示する作品のリストから、コンセプトを考え5点を選択する。	<p>○作品リストにある作品を鑑賞し、作品から受ける印象や背景について調査しながら、互いの意見を共有して班の中で再度コンセプトを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コントラスト」を表現するために、色や形、表現されている内容について着目し作品を選択する。 	イ	ア		イ
4 ・ 5	選択作品をどのような順番や組み合わせで見せるか考える	<p>○コンセプトを基に、ミニチュアフチュウブル美術館の空間の、壁面の構成や色、鑑賞作品の配置について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトを重視した壁面の構成や配色と鑑賞作品の配置の案を出し合いながら最も人に伝わる意見をまとめていく。【 B 】 	ア	ア	ア	
6 ・ 7	コンセプトに沿った展示空間の模型を制作する。	<p>○建築模型ボードを加工して、壁面を作り、鑑賞作品を配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示空間に合った計画通りの大きさや色を塗るなどして、ボードを加工し、設置する。 ・展示作品の位置を確定し制作する。 				ア

8	フチュウブル美術館 学芸員として、企画展 示の解説をする。ま た、他企画を鑑賞し、 考えをまとめること ができる。	○各グループの展示を鑑賞し、テーマに沿ったコンセプトのもと、 どのような空間の演出がなされているか考える。 ・コンセプトにあった作品の選定について、感じたことをまと める。 ・作品と空間の色彩や壁面の設置の総合的な演出を鑑賞し、企 画したグループの考えについてまとめる。	イ			イ
---	--	--	---	--	--	---

6 本時案

(1) 本時の目標

美術館のテーマに沿った各班のコンセプトのもと、美術館内の壁面の位置や色について考え、最適な作品の配置について計画することができる。

(2) 本時の展開 4時間目 (○…発問, △…補助発問, □…指示, 説明)

主な学習活動 (下位目標)	教師の働きかけ・手だて	【評価方法】・備考
1 コンセプトにあった空間を選 び自分の考えをまとめること ができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【生徒の予想される考え】</p> <p>◆ コンセプト「心の中」</p> <p>① 心の中に悲しさや喜びが引き 立つ空間に感じるから</p> <p>② 心はどんな感情にも染まるの で一番良いと感じるから</p> </div>	○次のコンセプトにあてはまる空間を選ぼう ・コンセプト「心の中」にあった空間 (壁面と色彩) を3つのパターンで提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【3つの様子が異なる空間の提示】</p> <p>① 黒色の壁面に、悲しげ 喜び の作品</p> <p>② 白色の壁面に、悲しげ 喜び の作品</p> <p>-以下は、仮定を意識した提示-</p> <p>③ 3面の配色が異なる壁面に①・②と同様の作品</p> </div>	<p>【観察】</p> <p>3名1グループで企画展示 を考える</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> どのような空間演出が、班のコンセプトに合うか企画会議をしよう </div>		
2 展覧会場の空間の演出につ いて自分の考えを持ち、ワー クシートにまとめることがで きる。	○各グループのコンセプトをもとに、他の学芸員 と相談する前に自分の意見をまとめておこう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【空間をつくるための必須ポイント】</p> <p>■A 作品の配列</p> <p>■B 壁面の位置や幅</p> <p>■C 展示空間の配色</p> </div>	<p>【観察／ワークシート】</p>
3 グループでの意見の交流を 行い、最もよい空間に向けた 意見をまとめることができ る。	□同グループの学芸員とプロジェクト会議をひら いてください。 ・上記の3つの視点をもとにコンセプトにあった 空間の演出について話し合う	<p>【観察／作品】</p>
4 最適な空間の演出のために 異なる視点の意見をもとに検 討する。	○グループの意見と異なる案では、コンセプトに は合わないのだろうか？ ・異なる意見を用いた空間を提示して全体で意見 を共有する。	・PPで提示する
5 本時の学習を振り返り、自 分の取組やグループでの意見 交流で得られたことをワー クシートにまとめることがで きる。	○今日の学習を振り返り、次時の取組では、各グ ループの課題は何か考えてみよう。	<p>【観察／ワークシート】</p>

